

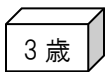
正門の桜の木を剪定してもらいました。ずいぶん思い切ってやってもらったのでアートのような姿になってしまいました。今後の変身ぶりに期待しましょう。

朝の自由活動中、たまに園庭にいよいよものなら子どもたちの「ねえ見てて!」「こっちきて!」「わたし〇〇できるようになった!」のオンパレードが始まります。園庭の園舎側にいる時は虫や見つけたもの系の報告が多いのですが、丸太小屋方面エリアにいると運動系の報告が次から次へと積み掛けられます。逆上がりやろく木の上までいけるようになったことなどのできるようになったことはもちろん、たいこ橋の棒の間をすり抜けまるでヨガのポーズのようなアクロバティックを披露する子、後ろ向きのまま雲梯をクリアしてみせる子（次に捕まる部分は見えていません、感覚のみで渡っていきます。スゲェ）、ヒコーキジムの屋根の上に仰向けで寝そべってみせる子（これはけっこう地味ですが）。これらはすべて、基本ができるようになったことを踏まえて、彼らが自分であみ出した進化系のワザなのです。これができるようになったのだからこんなふうにもできるのではないか・・・というあそびを自分の中で工夫して試している・・・なんて素晴らしく愉快な世界なのでしょう。そしてこの自慢はやがて自信になって、考えついたこと・体を駆使したこと、まさに心も体も成長していくのですね。ノビシロだらけです。

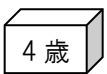
年少さんから年長さんまで、だんだん動きが活発になってきたのがわかります。運動することの楽しさを味わう、というより今は、子どもたち自身が、自分の体を自分の思った、あるいは考えたように動かせる喜びをたくさん感じている時期なのだなあとつくづく、またひしひしと感じた次第です。熱中症には十分注意しなければならない季節ではありますが、少しは暑さに慣れておくことも、熱中症予防にも健康にも大事なことだそうです。

今月は参観もあります。タイゾウ先生来日の噂もあります。よろしくお願ひ致します。

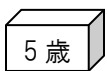
今月のねらい（育てほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ 自分で「やってみたい」という気持ちを持って、身の回りの始末など、自発的に取り組もうとする
- ・ 「入れて」「いいよ」などのやりとりの中で、友達と遊ぶ楽しさを知る
- ・ 水遊びやプールあそびを通して、開放感を味わう



- ・ 経験したことをイメージし、ごっこ遊びに取り入れようとする
- ・ 保育者や友達と一緒にいろいろな水遊びを楽しみ、開放感を味わう
- ・ みんなで使うものを大切に扱い、自分でできることをやってみようとする



- ・ 工夫して必要なものを作ったり、様々な表現を楽しむ
- ・ 友達の思いや自分とは違う意見があることに気づき、受け入れたり、遊びや活動の中に取り入れたりしようとする
- ・ グループごとに協力し、助け合い、励まし合って行動できる
- ・ テーマに沿って意見が言えたり、自分たちで1つの納得できる結論をだせる